

澤田瑞穂 （きんづね） 支那文學者、文學博士。明治四十五年高知縣生れ（一九〇一）。國學院大學高等師範部卒。大理大學、早稻田大學各教授歴任。著書『中國の文學』（昭和二十二年九月五日學徒援護會）、『字卷の研究』（昭和二十八年七月愛知・栄華書林「栄華字術叢書」）、『地獄変—中國の豆蔻説』（昭和四十二年二月、千白京都・法蔵館「ヤジヤの京教文化」）、『鬼趣談義』（昭和五十一年九月、千白圖書刊行会）、『中國動物譚』（昭和五十三年九月十五日弘文堂「弘文堂選書」）、『金牛の鎖—中國財富譚』（昭和五十八年十月七日平凡社）、『平凡社選書』（）、『苦馬翁—中國危時風物誌』（昭和五十九年五月）、『千白平河出版社』（）、『笑林閑話』（昭和六十年十月、千白東方書店）、『中國の庶民文芸—歌謠・說唱・演劇』（昭和六十二年十一月、千白東方書店）等。

